

1) 重要業績評価指標 (KPI) の数値修正

基本目標 1 働くなら“あいら” 地域資源を活かした活力ある産業、雇用をつくる

施策 2 まちの活力を育む商工業の振興・・・P13(総合戦略に掲載されているページ、以下同じ。)

KPI項目	基準値 (H26)	目標値 (H31)	備考
ふるさとハローワークの就業相談窓口年間利用者数 → ふるさとハローワークにおける就職率	14,666 人	15,400 人	H27 指標 11.2%
	→	→	H27 実績 12.2%
	<u>10.3%</u>	<u>14.6%</u>	H28 指標 12.0%
			H28 実績 12.8%
			H29 指標 12.9%
			H30 指標 13.7%

《修正理由》

全国的な就労人口の減少と景気の回復基調による就労者の増加、求人件数の増加により、有効求人倍率は年々増加傾向にある。国分公共職業安定所管内においても同様の傾向にあり、平成 27 年度平均の有効求人倍率が 0.81 であったのに対して平成 28 年度平均は 1.03 となっている。商工業の振興、雇用機会の確保を図ることが「まちの活力を育む商工業の振興」という施策に資することから、その成果である「ふるさとハローワークにおける就職率」を KPI としたい。これに伴い、基準値及び目標値を修正するものである。

2) 重要業績評価指標 (KPI) の上方修正

基本目標 1 働くなら“あいら” 地域資源を活かした活力ある産業、雇用をつくる

施策 2 まちの活力を育む商工業の振興・・・P13

KPI項目	基準値 (H26)	目標値 (H31)	備考
新規創業者数	8 人	23 人 → <u>50 人</u>	H27 累計 14 人 H28 累計 20 人
立地協定数	12 社	20 社 → <u>28 社</u>	H27 累計 16 社 H28 累計 19 社

《背景・修正理由》

・新規創業者数については、「イオンタウン始良」の全店開業や新規創業希望者のワンストップ窓口や助成制度の活用により、当初の見込より創業者が増え、平成 28 年度累計が 20 人と、当初の目標を上回ったため、今回更なる高い目標値に見直すものである。(27、28 年度実績から、目標値を設定。)

・立地協定数については、企業訪問等の活動により、平成 28 年度累計が 19 社と、当初の目標を上回ったため。今後、改正した始良市企業立地促進条例等の周知を図り、県央の良さを活かした企業誘致活動を展開することから、今回更なる高い目標値に見直すものである。

(27、28 年度実績から、目標値を設定。)

基本目標 3 子育てなら“あいら” 結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する

施策 1 結婚・妊娠・出産・子育ての支援体制の整備・・・P19

KPI項目	基準値 (H26)	目標値 (H31)	備考
妊婦歯科検診受診率	—	47% → <u>50%</u>	H27実績 34% H28実績 47%

《背景・修正理由等》

妊娠期における歯科検診の重要性について、母子健康手帳の交付時に伝えることにより、受診勧奨を行なった結果、平成 28 年度実績において目標値達成にいたった。今後も受診勧奨等を継続することにより、更なる受診率の向上を目指すことから、より高い目標値を設定するものである。

(27、28 年度実績から、目標値を設定。)

基本目標 4 住むなら“あいら” 生涯すこやかで、いきいきと暮らし、支えあえる地域をつくる

施策 1 いきいきと暮らせる健康づくり、地域づくりの推進・・・P22

KPI項目	基準値 (H26)	目標値 (H31)	備考
認知症サポーター数	4,196 人	7,000 人 → <u>8,500 人</u>	H27実績 5,345 人 H28実績 7,157 人

《背景・修正理由等》

厚生労働省によるテレビCM等により、認知症サポーターの知名度が上がり、また、認知症に対する関心の高まりから、養成講座受講者が増加した。さらに、学校や企業といった団体での参加が増えたことも受講者増加の要因となり、平成 28 年度の実績が 7,157 人と当初の目標値を達成した。更なる受講者の増加を目指すことから、より高い目標値を設定するものである。(27、28 年度実績から、目標値を設定。)